

# 大統領の就任演説と政策課題

## 就任演説の主要ポイント

- **国民(People)による統治：**
  - ✓ 私が大統領となった今日、この場所から、政府が国民により統治されるという変革が始まる。
- **米国第一主義：**
  - ✓ 今日、この日から、米国はひたすら米国第一主義(America First)に徹する。
  - ✓ 米国の企業、雇用、国境を守らなければならない。保護こそが偉大な繁栄と強さをもたらす。
- **新しい同盟関係の構築：**
  - ✓ 今後、米国は米国製品を買い、米国人を雇うという単純な2つのルールに従う。
  - ✓ 世界の国々と友好的な善意の関係を築くが、それは全ての国には自国の利益を優先させる権利があることを理解した上でのことである。そして古い同盟関係を強化し、新しいものを形づくる。
  - ✓ 世界を結束しイスラム過激派のテロを地球上から完全に根絶させる。



写真出典：  
<https://www.whitehouse.gov/administration/president-trump>

## 6つの政策課題のうち、「米国第一エネルギー計画」と「米国第一外交政策」

- 2017年1月20日、トランプ大統領は①米国第一エネルギー計画、②米国第一外交政策、③雇用と成長の復活、④米国の軍隊を再び強固なものとする、⑤法律施行コミュニティの設立、そして⑥すべての米国人のための貿易交渉、の計6つの政策課題を発表。うち、①と②の概要は以下の通り。

### 米国第一エネルギー計画

- 長期間に亘りエネルギー業界への重圧となり、また米国の(雇用等にとつて)有害かつ不必要な気候行動計画や水資源保護を排除し、米国労働者の賃金を今後7年間で300億ドル以上引き上げ
- 50兆ドルと見積もられ、特に連邦所有地(陸域、海域)のシェール資源を開発し、それらのエネルギー生産からの収入で公共インフラを再建
- クリーン・コール技術に取組み、米国の石炭産業を再生
- 上記により米国は石油輸出国機構(OPEC)や米国を敵視する国々からエネルギーの自立を確立する。同時に湾岸の同盟国と対テロ戦略の一つとして良好なエネルギー関係を築く
- 環境保護庁の本質的なミッションを再び大気と水の保護に向けさせる

### 米国第一外交政策

- 外交政策の中心は「力による平和(Peace through strength)」
- イスラム国(ISIS)やイスラム過激派テロ組織の打破は最優先課題。必要であれば統合及び合同軍事作戦を積極的に展開
- 米国の軍事力を再建。米国の軍事優位性は揺るがないものでなければならず、米海軍や空軍の減少傾向を逆転させる
- 米国の利益に基づいた政策を推進するに当たり外交を活用